



サニーポート さんさん

発行責任者 ■ サニーポート小名浜 広報担当 ☎ 0246-92-3321

サニーポート小名浜の機関紙「さんさん」の創刊号発行にあたり、一言御挨拶申し上げます。本誌の名称につきましては、サニーから連想される「太陽の陽」がさんさん（燦々）と輝いているさまと英語のsun・sunの掛詞（かけことば）になっております。

また施設の名称につきましては、パンフレットに述べてあるように陽のあたる港、小名浜そして人生のある時期を自宅から離れて錨を降ろして休息する場所とイメージしております。建物全体の配色も暖色系にいたしました。

施設の運営にあたりましては入居されている皆様が出来の限りこれまでの在宅生活が続けられるようにお手伝いすることを基本にしております。入居者様におかれましては個室に閉じこもらず、一日のうちある程度の時間は共同生活室に出向いて頂き、隣室の人たちといわゆる井戸端会議を賑やかにやっていただきたく思っております。

「さんさん」には施設内で行われた各種行事や施設職員からの報告などが記載されておりますので、この機関紙がサニーポート小名浜の職員と入居者様そして御家族の皆様との繋がりにお役に立ちますことを願っております。

社会福祉法人 容雅会 理事長 中村雅英

九月二十一日の敬老の日。にちなみ、敬老会を一階のデイルームにて行いました。施設長からのお祝いの言葉を皮切りに賑やかな会のスタートです。

初めに、普段ユニットで一緒に過ごしている職員達と皆さんに喜んでもらえる物「を熟考し準備したプレゼント」を代表の方に贈呈しました。潮ユニットでは、この時プレゼントされた商品券を持って、後日、皆でお買い物に出かけたそうです。

賞に輝いた小名浜高等学校フラガールの皆さんに特別にいただきました。定番のカイマナヒラから、涙そうそう等なじみのある曲まで様々なフラダンスを披露して頂きました。ときには一緒に体をゆらしながら、皆さんフラに見入っていました。

次はカラオケ大会です。のど自慢が美声を披露してくださいました。練習が足りなかったと声の伸びに満足出来ないお顔や、恥ずかしがる姿など普段と違った様子も見られました。最後、皆で北国の春を合唱し、楽しい時間を過ごすることが出来ました。

お部屋に帰ってからはおやつタイムです。初めての試み、おみのフルーzingはアイスに好みのフルーツやトッピングを自分で選ぶスタイルで提供しました。楽しんで頂けたようです。

皆さんの長寿を一緒に祝う敬老会を毎年重ねていきたいです。



九月十九日 敬老会を開催しました



秋の味覚をいただきました!!

敬老の日を前に株式会社いわき中水様よりサンマとカツオを頂きました。事前に「届けます」と連絡をいただいていたのですが、こんなにたくさん頂けるとは！ビックリしました。



頂いたサンマは蒲焼きに、カツオは竜田揚げにして、入居者様の夕食に加わり、美味しいと皆さんに大好評でした。

先日、入居者様に元気の秘訣を伺ったら「旬の美味しい物を食って笑顔！」とのこと。食事のメニューで季節を感じられる事は、外に出る機会の少ない入居者様にとって、大切な事だと思います。これからも四季の移ろいを体感できるメニューやイベントを実施しますので、ご期待ください。



いわき中水様、本当にありがとうございました。

11月11日は介護の日

ご存知ですか？介護の日。高齢者や障害者等に対する介護に関し、国民への啓発を重点的に実施するための日として2008年に「11月11日」を「介護の日」と決めました。全国の福祉施設等で介護の日に合わせて、介護への理解を深める記念講演やイベントが行われます。サニーポートでは認知症サポーター養成講座、シルバーリハビリ体操の勉強会を計画中です。



こういった機会に認知症や介護への理解を深め、誤解や偏見を無くし、高齢者や社会的弱者の方が住みやすい街になって行くお手伝いをしたいと思っております。今後、継続的に開催していきますので、皆さん是非ご参加ください。

感染予防に手洗い

普段から気を付けているつもりでも、毎年なぜか感染してしまう風邪やインフルエンザ。もしかしたら対策方法が間違っているのかも知れません。実は、インフルエンザなど病気を引き起こす感染症の多くは「手」を介して体内に侵入することが多いと言われています。

例えば、風邪やインフルエンザの流行期にはドアノブなど様々な場所にウイルスが付着しています。そういった場所を触った手で、自分の眼・鼻・口を触ったり、食事をしたりすることでウイルスが体内に侵入してきます。このような状況では、手にウイルスが付着することを未然に防ぐことは困難です。

様々な感染症から身を守るためには、手からの侵入を遮断する「手洗い」がとても大切です。手洗いは、帰宅時や食事前だけでなくトイレのドアや入り口など、不特定多数の人が触れるようなものに触れた後にも可能な限り行うことが大切です。

少し神経質に思われるかもしれませんが、風邪やインフルエンザなどの感染予防のためには頻繁に手洗いを行うことが何より良い予防策です。手洗い習慣を身に付けましょう。

＜行事予定＞

11月1週 芋煮会
11月14日 認知症サポーター養成講座
12月 クリスマス会

入居者様と一緒にのんびり冬支度をしよう、12月のクリスマス会に向け、毛糸やフェルトでクリスマスオーナメントを作成しようと計画中です。正面玄関のツリー飾り付けを楽しみにしててください。

＜職員募集＞

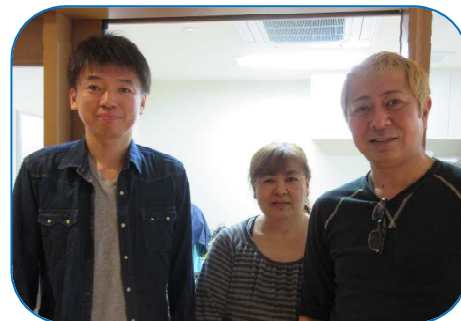
サニーポート小名浜では単なる介護にとどまらず、地域の福祉の充実を通して利用者が癒されるサービスの提供を目指しています。

現在、介護職・看護職・相談員などの職員を募集しております。経験者はもちろん未経験の方、資格のない方も歓迎します！施設内託児所や各種研修制度があるので、働きながらスキルアップできます。一緒に楽しく働きませんか？詳しくはお電話にてお問い合わせ下さい。 TEL 92-3321 （担当 佐藤）



✂ 出張理美容室 ✂

「階のエレベーター前に理美容室があるのはご存知ですか？五月から入居者様の理美容サービスとして来ていただいているサロンヘア・プレス・スティージ（小名浜君ヶ塚）の皆様をご紹介いたします。」



笑顔のあるお仕事をお心掛けています。是非お越し下さい。
 右／佐久間 剛様
 カットや顔剃りをするとサッパリしますよ
 中央／佐久間 恵様
 毎回皆さんに『ありがとう』と言っていただけて嬉しいです。
 左／角田 哲也様
 いつも笑顔で優しく丁寧に対応してくださるので毎回好評です。

リハビリ紹介

サニーポート小名浜では機能訓練指導員が集団体操と、お一人お一人に合わせた個別機能訓練、リハビリの指導を行っております。

機能訓練指導員として理学療法士と柔道整復師がおります。理学療法士は、病気やケガにより日常生活に支障をきたした方々に対し、運動療法や物理療法を施し基本的動作能力の回復を目指します。柔道整復師は脱臼、捻挫、打撲などの外傷を手術や投薬などを使わずに整復治療し、運動機能の回復を目指します。どちらも目的は入居者様の心身の健康保持、日常生活能力の維持、向上です。皆さんが楽しく機能訓練やリハビリに参加して頂けるよう、色々と工夫を凝らしており、低周波治療器や物理療法にも取り組んでおります。



＜おひさまルーム＞

施設に響く笑い声
 元気な泣き声。

施設内託児所「おひさまルーム」では6ヶ月～6歳までのお子様を、パパママが勤務している間、お預かりしています。屋上や中庭で遊んでいる姿を見て、入居者様と一緒に和んでいます。

先日の敬老の日には手作りプレゼントを入居者様に配ったりと、世代間交流も行っております。

お子様との交流は元気をもらえるようで、皆さんに喜ばれております。

4階、屋上菜園でたくさんの花や野菜が実りました。摘んだ花をお部屋に飾り、収穫された野菜は美味しく頂きました。皆さん土に触ると童心に返るようで、とても楽しい様子です。もう少し経つとサツマイモに落花生が収穫できます。

食欲の秋に向けて大きく、美味しく育てたいです。



(^o^)/大収穫

短期入所生活介護事業所 サニーポート小名浜

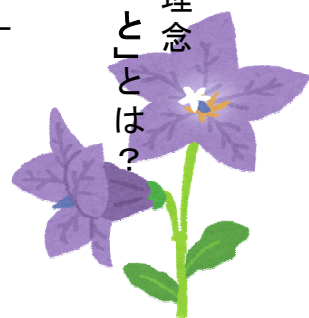
サニーポート小名浜のショートステイは、その人らしい生活とプライバシー確保の為、全室にトイレ・洗面所付きの個室となっております。介護に関しては、施設方針に則り、人と人との繋がりを大切に、その人らしく生活していただくための寄り添う介護を目指しております。日常生活の援助、健康管理、機能訓練でのリハビリなどケアマネージャーや介護士、看護師と連携をとりながら利用者様とご家族様のニーズに合わせたサービスを提供致します。

今までご利用いただいた方からは、車イスのまま入浴できる大浴場、見晴らしの良い屋上菜園や開放的な中庭が喜ばれております。カラオケルームや栄養管理の行き届いた食事も好評です。



ユニットケアⅡ『こだわりを叶える』

我々サニーポート小名浜の法人理念
 「その人らしさを守ること」とは？



『これじゃなきゃ嫌だ。』
 『この時間じゃなきゃ許せない。』
 皆さんの普段の生活の中にも、いろいろな『こだわり』があると思います。

私は『その人らしさ』の意味合いの一つに『こだわり』があると考えます。そして、私がユニットケアを勉強・実践していく中で、一番大事にしたいと思うてきた部分でもあります。介護が必要なたい状態になっても、ごく普通の生活を営むことがユニットケアの原点です。

ごく普通の生活とはなんだろうか？
 自分は普段どんな生活をしているのだろうか？
 その中にどんなこだわりがあるだろうか？
 自分がいかに通りに動けなくなった時、自分の意思が伝えられなくなった時、今までと変わらない生活ができるだろうか？
 その場合、こだわりは妥協しなきゃいけないだろうか？
 うか？どんなサポートを、どんなふうにか、どこまでしてもらいたいことを望むだろうか？

それが入居者にとって一日の生活の中のほんの一部であったとしても、入居者が今求めていることを『こだわり』も含めて叶えることができたなら、それはユニットケアなのではないでしょうか。

潮ユニット 矢吹 仁

第一回
夏祭りを
終えて

八月二十二日（土曜日）、当施設駐車場におきまして夏祭りが開催されました。残暑厳しい中でありましたが、おかげ様でもちまして、入居者様、ご家族様をはじめ、地域の皆様にも多数お集まりいただき、盛況のうちに終えることができました。

入居者の皆様は、リハビリの一環として、盆踊りに取り組まれており、夏祭りの機会に披露していただきました。各ユニットで、手作りのうちわを持ったり、手首に花をつけたたり、工夫を凝らした小物を用意していただき、雰囲気も盛り上がったのではないかと思います。

催し物といたしまして、子供じやんがら、民謡、高校生じやんがら、創作太鼓の皆様に出演していただきました。入居者の皆様には、普段なかなか見られない演舞や演奏を間近で存分に楽しんでいただけたようです。暑い中、最後まで見ていききたいと会場に残られた入居者様が多数いらっしたこと、それも、それを表しており、職員一同嬉しく感じておりました。

第一回目ということ、至らぬ点多々あったと思いますが、このような行事を通して、地域に根差した施設にし、入居者様によりよい生活を送っていただけますよう努めていきたいと思っておりますので、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



貴重な体験でした



多くの方が来て下さいました



西郷子供じやんがら会の皆さんと